

令和6年度 第2回丹波市介護保険事業運営協議会 会議録

日 時	令和6年11月28日（木） 午後2時00分～ 午後3時00分
場 所	丹波市役所本庁第2庁舎 2階ホール
参加者	馬場会長、福井委員、八木委員、久下委員、足立委員、平田委員、谷委員、田村委員、土田委員、上月委員、吉見委員 計11名出席 (欠席：細見副会長、小平委員、小椎尾委員、上田委員)
会議内容	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告事項 (1) 介護サービス事業所の指定更新申請について (2) 認知症対策事業の進捗状況について (3) 在宅医療・介護連携推進事業の状況について 4. 協議事項 (1) 高齢者保健福祉計画第9期介護保険事業計画の進捗状況について 5. その他 令和6年度 第3回運営協議会開催について 6. 閉会

1. 開会

【事務局】

令和6年度第2回丹波市介護保険事業運営協議会をご案内いたしましたところ、委員の皆様には、ご多用にもかかわらずご出席いただきありがとうございました。

本日は、小平委員、細見委員、小椎尾委員、上田委員の4名につきましては欠席の連絡を受けております。当協議会の委員15名のうち11名のご出席でございます。丹波市介護保険事業運営協議会規則第5条第2項の規定にあります「委員の2分の1以上の出席」をいただいておりますので、ただいまより開会をさせていただきます。

なお、本協議会につきましては、会議録をホームページで公開をさせていただきますので、会議につきまして、録音をさせていただきますのでご了承をお願いします。

それでは、次第の2番に移ります。まず初めに、馬場会長よりご挨拶をいただきます。

(会長挨拶)

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、本日配布している資料の確認をお願いしたいと思います。事前に郵送で本日の資料を送らせていただいております。併せて追加の資料を机上に2部置かせていただいております。「自分ノート」と「認知症ガイドブック」を本日机上に置かせていただいております。本日の資料につきまして、過不足等はありませんか。

それでは、以後の議事の進行につきまして、会長にお世話になりたいと思います。会長、よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

(1) 介護サービス事業所の指定更新申請について

【会長】

事務局説明をお願いします。

【事務局】

介護サービス事業所の指定更新申請についての説明

(2) 認知症対策事業の進捗状況について

【会長】

事務局説明をお願いします。

【事務局】

認知症対策事業の進捗状況について説明

(3) 在宅医療・介護連携推進事業の状況について

【会長】

事務局説明をお願いします。

【事務局】

在宅医療・介護連携推進事業の状況について説明

【会長】

ここまでで、質問等がある方はいらっしゃいますか。

【委員】

認知症ガイドブックについてですが、認知症サポーター養成講座にオレンジリングを配ると記載がありますが、何年か前からカードの配布になったと思うのですが、またオレンジリングに戻ったのですか。

【事務局】

購入させていただいております。

【会長】

他にご質問のある方はいらっしゃいますか。

【委員】

認知症施策の個人賠償責任保険ですが、加入者数が24名ということなんですが、制度周知方法は紙媒体で一斉に案内されているのですか。

【事務局】

こちらの事業につきましては、早期発見SOSシステムの加入が条件になっていますので、年度初めにSOSシステムの加入者に対して、個人賠償責任保険に加入できる制度が開始になったという説明文書を送付しました。

次に、早期発見SOSシステム加入時に、「早期発見SOSシステム申請兼認知症高齢者等個人賠償責任加入申請書」という申請書の一つにまとめたものとなっており、申請時に併せて案内を行っております。また、早期発見SOSシステムの説明時には、この保険も同時に加入という形で案内をしております。したがって周知方法は紙ベースがメインとなります。

【委員】

テレビで事故などの報道もよく流れており、今の話ですと早期発見SOSシステムと同時に案内されておられるということで、もう少し加入者が多いかと思ったので確認しました。引き続き周知の方をよろしくお願いします。

【会長】

他にご質問のある方はいらっしゃいますか。

【委員】

自分ノートの9ページですが、「もしものとき」という見出しの、「基本的な希望」内に「痛みや苦痛について」、「人生の最期の時を過ごしたい場所」に加えて「延命措置を希望するか、しないか」というものがあると、もっと良いのではないのでしょうか。よく病院で、本人は延命措置を希望しているか、していないのかということを聞かれます。自分のことなので、究極の選択というような事は書きにくいかもしれませんが、このノートを書くとしたら、そこまで書いてあれば家族も、本人の意思表示が分かるので、その辺りも将来的に考えられたらと思います。

【事務局】

ありがとうございます。そのようなご意見を聞きながら、今後更に改良を行い、良い内容となるようにしていきたいと思います。

【会長】

他にご意見のある方はいらっしゃいますか。

【委員】

自分ノートなのですが、自分の年齢や病状によって希望が変わっていくと思いますので、

そのような希望の変遷が見えるようなものであれば、この病気になってこんな考えだったんだなという風に家族も推測が付きやすいのではないかと思います。なかなか作成するのが難しいですが、その様な事が分かったら良いと思います。

認知症高齢者等個人賠償責任保険は、丹波市に住民票があり在宅生活をされている方で、早期発見ＳＯＳシステムに加入されている方に限定ということですが、早期発見ＳＯＳシステム自体は施設に入所されている方でも、丹波市内に居住していれば登録することができるということでしょうか。

【事務局】

そのとおりです。早期発見ＳＯＳシステムの方は、施設入所の方も登録できます。認知症高齢者等個人賠償責任は施設入所者の方は加入対象外となります。

自分ノートの方ですが、いただきましたご意見も踏まえて改良していきたいと思います。変遷となると年表みたいになるので、作り方が難しいとは思いますが、参考にさせていただきます。

【委員】

あともう１点ですが、施設は結構あると思いますし、施設側で早期発見ＳＯＳシステムを一斉に登録を呼びかけたりすると、登録者数も増えると思います。施設入所の方は、今まで暮らしてきた場所と違うところに来られているので、施設から出て行ってしまうことも考えられます。高齢者に限らず障がい者施設にも声をかけて使えるような方法も協力して行っていくべきだと思います。

もう一点は、細かい事になるのですが、早期発見ＳＯＳシステムに登録した方でＱＲコードを希望された方は５枚ずつ貰えるということなのですが、私であれば５枚だったら大切すぎて何に貼ったらよいのか分からなくなりそう、もう少し配布枚数を多くしていただいて、服とかに貼って無くなったらまた発行するというような仕方のほうが良いような感じがします。

【会長】

他に何かご意見などある方はいらっしゃいますか。では、次に進みたいと思います。

４．協議事項

（１）高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画の進捗状況等について

【会長】

事務局説明をお願いします。

【事務局】

高齢者保健福祉計画・第９期介護保険事業計画の進捗状況等について説明

【会長】

ありがとうございました。何かご質問、ご意見のある委員はいらっしゃいますか。

【委員】

介護予防支援が増えているが介護予防サービスが減ってるということですが、計画値なので増加や減少している理由は無いかもしれませんが、介護予防のケアマネジャーは多く必要とされていて、そのケアプランによって利用される介護予防サービスは計画より結構少ない感じですが、何か考えられることがあれば教えてもらえたらと思います。

【事務局】

先程の説明にもありましたが、令和4年、5年で要介護認定を受けた方の死亡者数が通常よりも増えている状況となっています。そのような中で、令和3年度をピークに介護認定を受けておられる方の人数は減少し、令和5年には増加に転じているという状況で、介護予防の認定者が増加しているのはなぜかということですが、現状そこまでの分析は行っておりません。申し訳ございませんが回答は出来ません。次回の会議までには回答できるようにしたいと思います。

【委員】

ありがとうございました。介護予防支援は基本的には地域包括支援センターが受けていると思います。私共の法人も委託を受けて事業を行っていますが、どんどん右肩上がり、各包括にケアマネジャーは3人程いると思うのですが、件数がすごく増えており、このまま増加していけば担当をどれだけ持てるかということもありますので、こちらとしましても、ここの数字は見ていきたいと思います。

【会長】

他にありませんか。

【委員】

ありがとうございました。先程の質問と似たようなことになりましたが、認定者数が、死亡が増加したことにより減少していたが、微増ではあるが増加に転じている。その中で、居宅介護支援費が若干下がっていて、リンクして介護給付費も下がっている。認定者数は一旦減少し微増にはなっているが給付費は計画値より下がっているというのは、例えば介護認定は受けられたものの介護サービスは利用していない方がおられるとか、ケアマネジャーが就かれていない方がおられるなど理由が考えられるのですが、答えは無いかもですが、気になったので分かる範囲でお願いします。

【事務局】

介護認定者数は微増ながら増加傾向にあるが、介護支援費は下がっているということですが、前回の会議でも令和3年から5年にかけて徐々に介護支援費が下がっているという質問がありました。十分に分析が出来ておりませんが、介護認定者数は令和3年をピークに3年、4年、5年と減少しています。それに伴い介護支援費が減少しているというのも要因の一部にはなっていると考えております。

令和6年度については、年度途中ということもあり、明確なことは分かりませんが、認定

者が増加傾向にある中で、給付費が伸びてこないようなことがあれば、言われたように介護認定は受けたがケアマネジャーは就いていないであるとか、住宅改修のみであったり、福祉用具購入のみであったり、一回だけのサービス利用のために介護認定を受けられている方もおられるので、そういったことも影響していると考えております。

【委員】

ありがとうございました。

【会長】

他にご意見のある委員はいらっしゃいますか。よろしいでしょうか。

5. その他

【会長】

では、以上で本日の協議内容は終了しました。多くの貴重なご意見をいただきありがとうございました。事務局はいただいたご意見をもとにしっかり協議し、事業を進めてください。

では、5番のその他の説明をお願いします。

【事務局】

令和6年度第3回運営協議会開催について説明

【会長】

では、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。